

# 2025年度第3四半期 決算説明会

エーザイ株式会社  
2026年2月9日

# 本日の登壇者



内藤 景介

---

代表執行役専務  
COO(兼)チーフグロースオフィサー



大山 拓也

---

執行役  
CFO(兼)チーフIRオフィサー

## 売上収益

- 6,199億円 前同比 +3.1%
- オーガニックビジネスである医薬品事業が順調に進捗し、増収

## 営業利益

- 545億円 前同比 -1.7%
- 導出による一過性損益が今期計上されていないため前年同期比減益となったものの、オーガニックビジネスの営業利益貢献が拡大し順調に進捗

## パイプライン

- オンコロジーフランチャイズの維持・活用のため、導入品投資を実行

## 2025年度通期予想

- 売上収益 7,900億円 営業利益 545億円
- 2025年度 通期予想に対して、順調な進捗

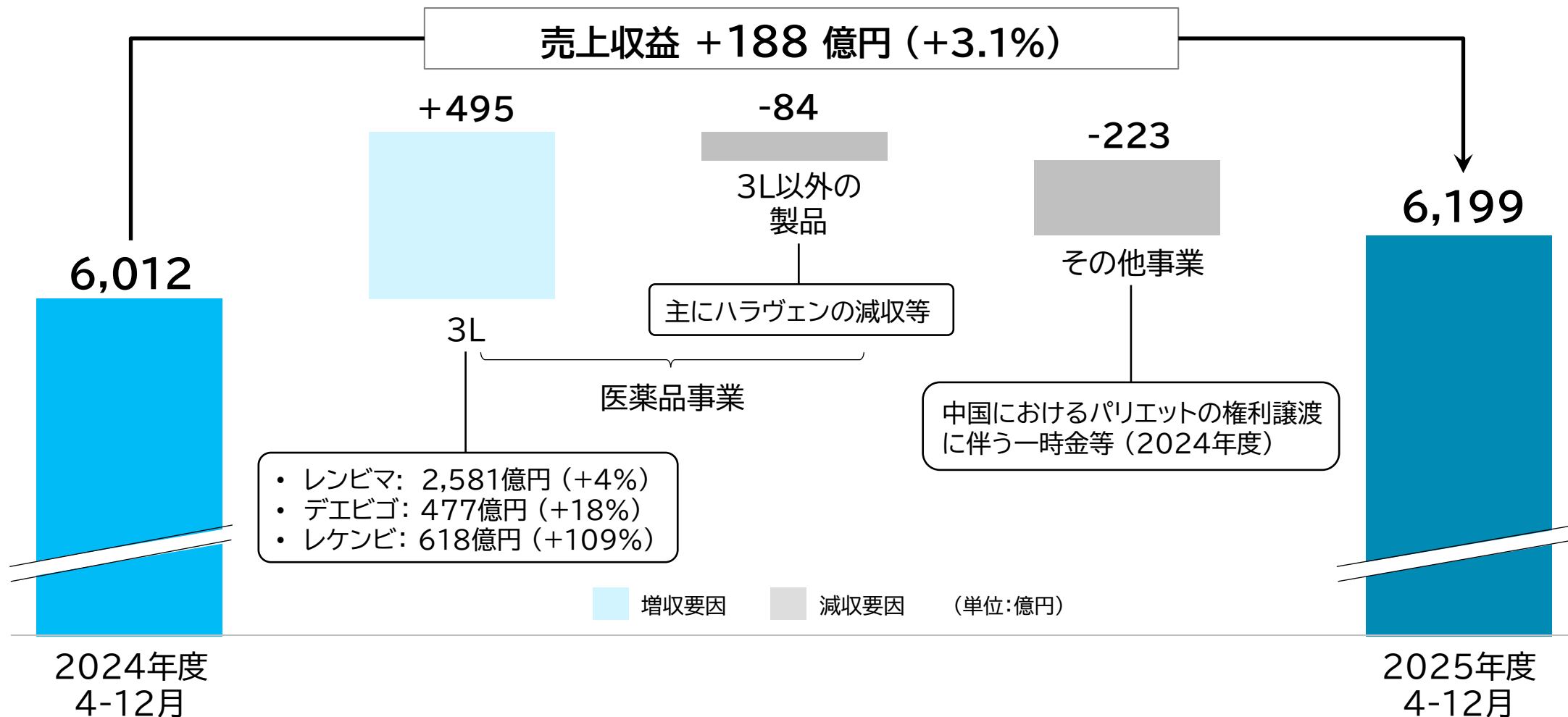
# 2025年度 第3四半期 連結業績(IFRS)

- 医薬品事業が順調に進捗し、前年同期比+3%の増収を達成
- 第4四半期の研究開発への資源投入と構造改革費用を見据え、業績予想は変更なし

(億円)	2024年度 4-12月 実績	2025年度 4-12月 実績	対前同 増減		2025年度	
					予想	進捗率
売上収益	6,012	6,199	+188	+3.1%	7,900	78.5%
内 医薬品事業 売上収益	5,691	6,101	+410	+7.2%	7,545	80.9%
売上原価	1,282	1,392	+110	+8.6%	1,825	76.3%
売上原価率	21.3%	22.5%	+1.1pts	—	23.1%	—
売上総利益	4,730	4,807	+78	+1.6%	6,075	79.1%
研究開発費	1,253	1,147	-106	-8.5%	1,665	68.9%
研究開発費率	20.8%	18.5%	-2.3pts	—	21.1%	—
販売管理費	3,015	3,157	+143	+4.7%	3,960	79.7%
内 レンビマ利益折半費用	1,151	1,182	+32	+2.7%	—	—
その他の損益	92	42	-51	-54.8%	95	44.0%
営業利益	554	545	-10	-1.7%	545	99.9%
営業利益率	9.2%	8.8%	-0.4pts	—	6.9%	—
当期利益(親会社所有者帰属)	455	418	-37	-8.1%	415	100.7%
EPS(円)	160.14	148.31	-11.83	-7.4%	147.20	100.8%

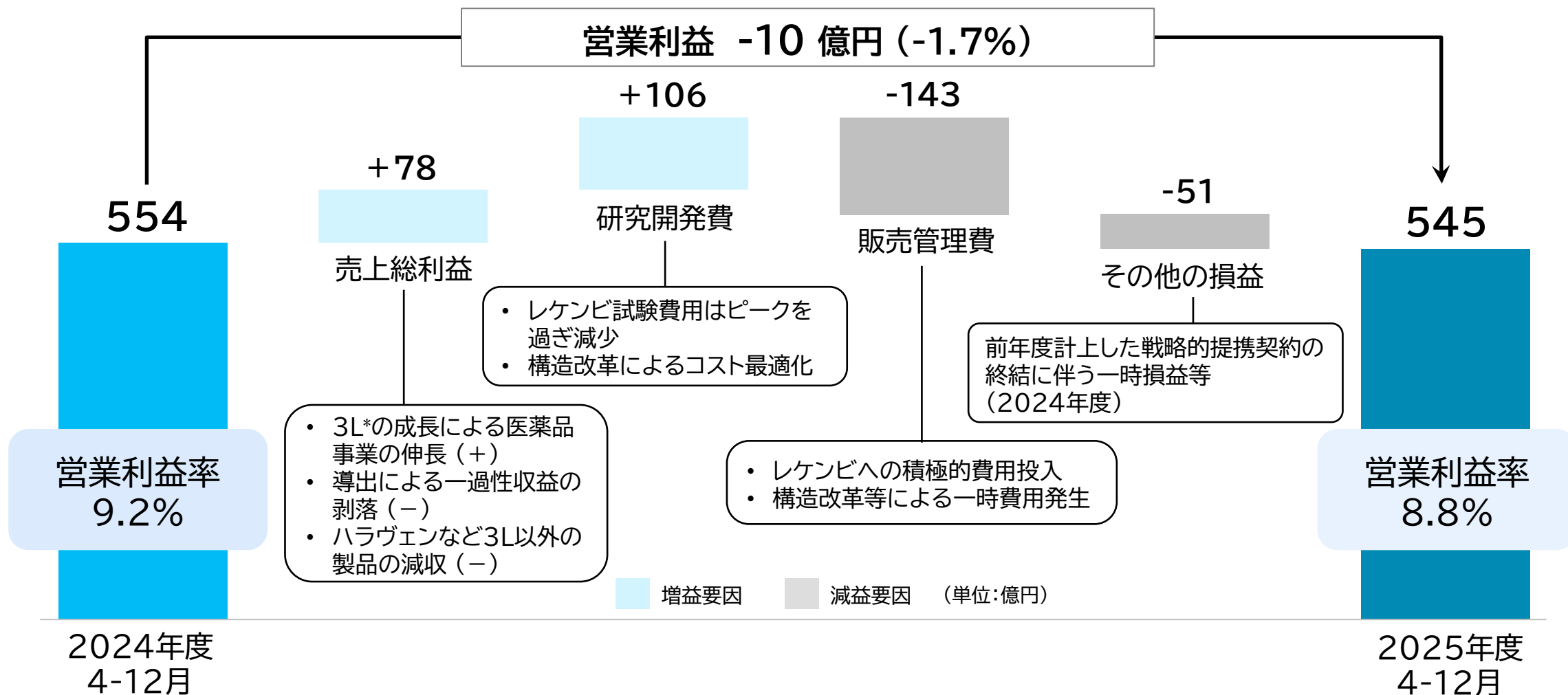
# 売上収益の概要

- 3L\*の成長がけん引し、医薬品事業で増収を達成
- 医薬品事業売上収益は前年同期比+7%の6,101億円



# 営業利益増減要因

- 本年度は導出等一過性の収益は殆どなく、オーガニックビジネスである医薬品事業による営業利益貢献が大幅に拡大



# オンコロジーパイプライン強化に向けた戦略投資

## ■ フランチャイズ維持・拡大の足がかりとして、欧州、日本においてパイプライン導入

### 欧州:タレトレクチニブ(一般名)

- 米国・中国・日本において、ROS1陽性の非小細胞肺癌適応で承認を取得している、次世代型の経口ROS1選択的チロシンキナーゼ阻害剤
- 米国ではフェーズⅡ試験での極めて高い有効性と管理可能な安全性に基きフル承認を取得

#### 米国 Nuvation Bio Inc.よりライセンス

##### 提携概要:

- エーザイが欧州、中東、カナダ、アジア、オセアニアなどで独占的開発・薬事・商業化権を取得
- Nuvation Bio社は米国で商業権を保持、グローバル開発を主導

##### 経済条件

- 契約一時金(Upfront) 5,000万ユーロ(約90億円)
- 薬事・販売マイルストーン:最大1億4,500万ユーロ(約261億円)

##### 今後の展開

- 欧州でROS1陽性の非小細胞肺癌適応で2026年前半までに承認申請予定

### 日本:Serplulimab(一般名)

- 中国、欧州、アジア、南米を含む40以上の国と地域において、進展型小細胞肺癌適応で承認を取得している世界で初めての抗PD-1抗体
- 日本では進展型小細胞肺癌以外にも、大腸がんおよび周術期胃がんでの開発が進行もしくは計画中

#### 中国 Shanghai Henlius Biotech, Inc.よりライセンス

##### 提携概要:

- エーザイが日本における独占的商業化権を取得
- 現在日本において開発中または開発計画中の3がん種について、Henlius Biotech社主導の元で開発

##### 経済条件

- 契約一時金(Upfront) 75百万米ドル(約116億円)
- 薬事・販売マイルストーン:最大313百万米ドル(約486億円)

##### 今後の展開

- 2026年度中に日本において進展型小細胞肺癌適応での最初の承認申請予定
- 大腸がん、周術期胃がんについて2027年度以降に承認申請予定

本2案件に伴う2026年3月期の連結業績予想の変更なし

# ビジネスおよびパイプライン アップデート

## ■ 3L\*ビジネスアップデート

## ■ レケンビ

- 価値最大化に向けた取り組み
  - 診断・治療パスウェイの変革に向けた取り組み
  - SC-AIが持つ患者様価値の向上と、着実なグローバル展開
  - Aβ検査の効率化に向けたBBMのポジティブな環境変化
- リージョン・アップデート
  - 米国：高い治療継続率、BBM・IQLIKによる新たな診断・治療オプションの実装
  - 日本：治療継続を実現する循環型医療連携の構築
  - 中国：商業保険の革新的医薬品リストへの収載

## ■ パイプライン

- E2086:ナルコレプシー(NT1, NT2)を対象としたフェーズⅡ試験を開始予定
- 次世代パイプラインの順調な進捗



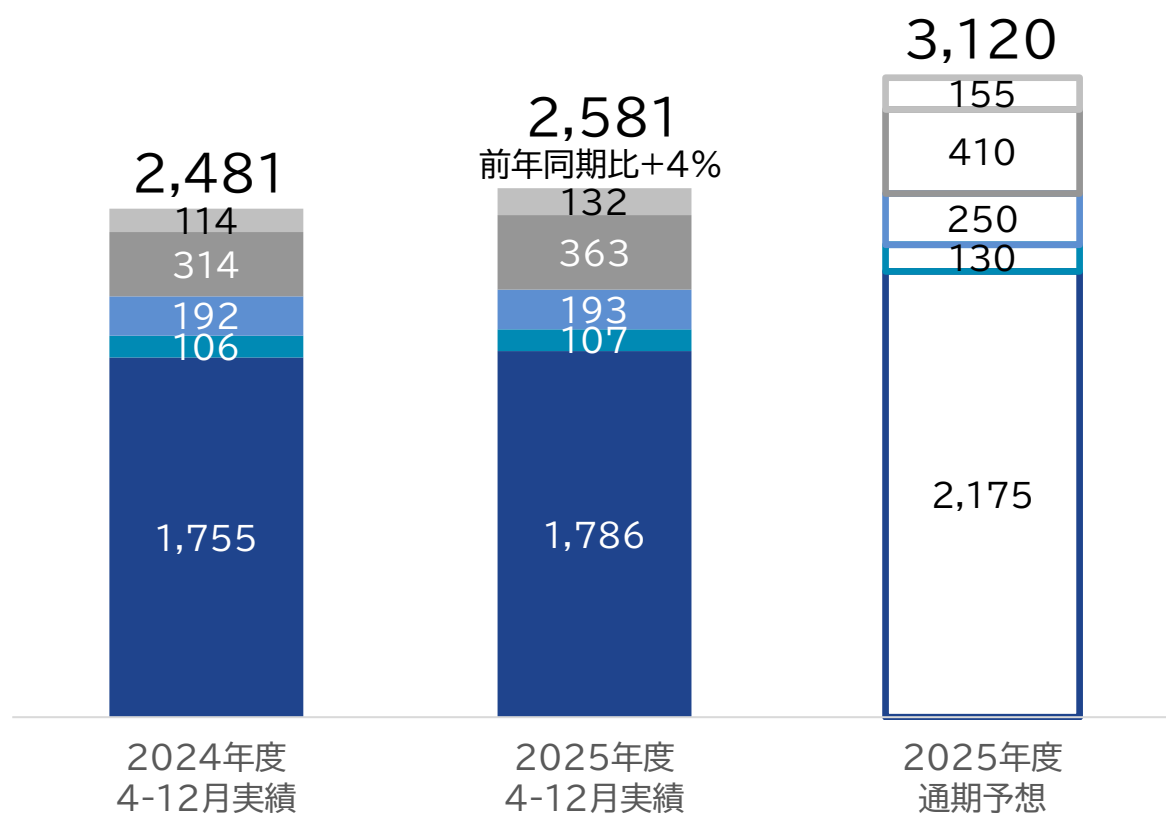
# レンビマ: ビジネスアップデート

抗がん剤: 5がん種7適応を有する経口投与可能な自社創製マルチキナーゼ阻害剤  
単剤療法およびキイトルーダとの併用療法により拡大

発売以来10年、81カ国で  
約58.1万人に貢献

売上収益(リージョン別)

(単位: 億円)



■ アメリカス ■ 日本 ■ 中国 ■ EMEA ■ イーストアジア・グローバルサウス

■ 全リージョンで伸長あるいは維持  
アメリカスがけん引し、売上収益は  
前年同期比+4%の2,581億円に伸長

米国:

- 需要増により、IRA(インフレ抑制法)\*<sup>1</sup>によるマイナス影響を吸収し増収(前年同期比+2%)
- 腎細胞がん・子宮内膜がん・肝細胞がん・甲状腺がん適応でトップシェア\*<sup>2</sup>を継続
- IRAに基づくメディケア薬価交渉制度の対象医薬品リストに掲載(2028年1月より適用)
- 高純度特許に対する裁判の判決\*<sup>3</sup>および和解契約により、2030年6月30日まで後発医薬品の販売はない\*<sup>4</sup>

\*1 Medicare Part D Redesign \*2 腎細胞がん・子宮内膜がん: IO(Immuno-Oncology)-IO併用療法、およびIO-TKI(Tyrosine Kinase Inhibitor)併用療法内におけるシェア、肝細胞がん・甲状腺がん: TKI単剤療法内におけるシェア。社内推計 \*3 Shilpa社は、本判決について米国連邦高等裁判所に上訴中 \*4 当該期日より前に、特定の条件が発生しない場合

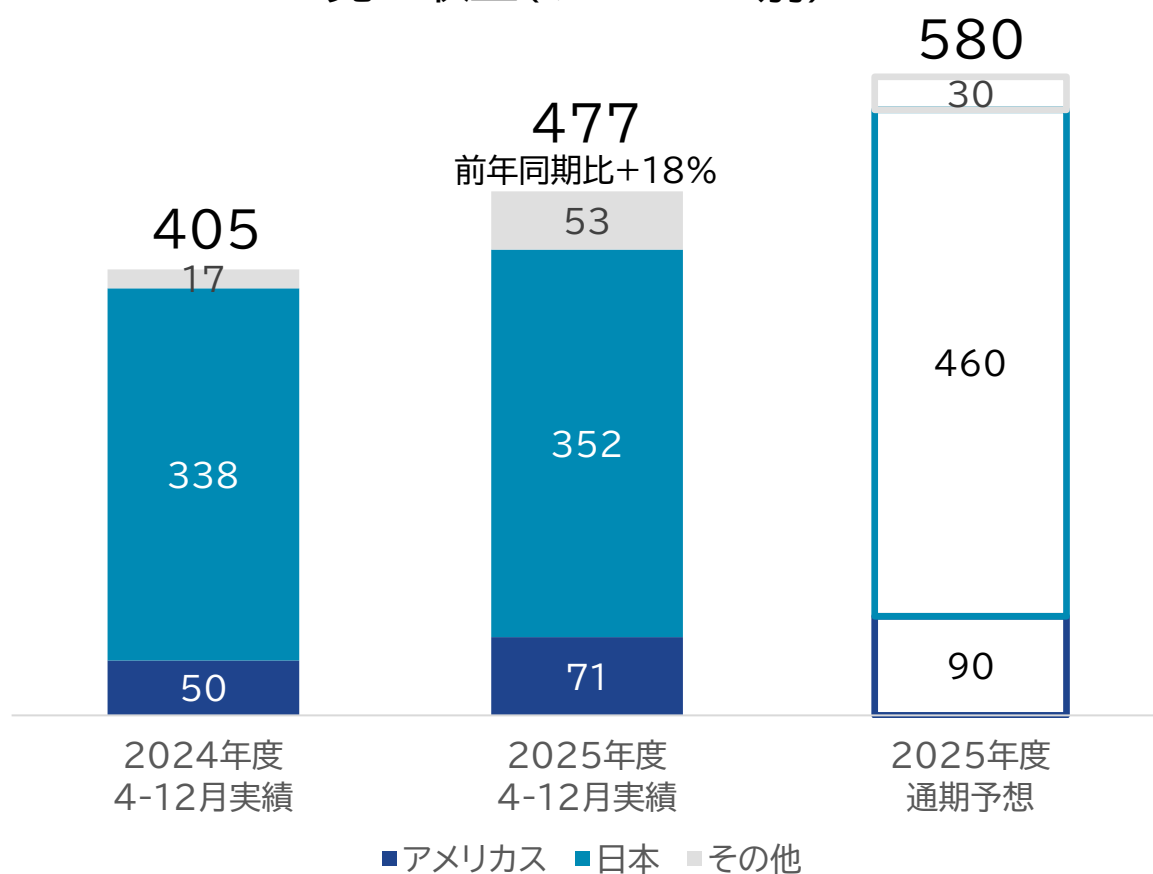
# デエビゴ：ビジネスアップデート

不眠症治療剤：睡眠と覚醒の調整に関するオレキシンを標的とした  
自社創製の創薬プラットフォームから生み出されたオレキシן受容体拮抗薬

不眠症に係る適応で、日本、米国  
など27の国と地域で承認取得済

売上収益(リージョン別)

(単位:億円)



## ■ 全リージョンで伸長し 通期で580億円の達成を見込む

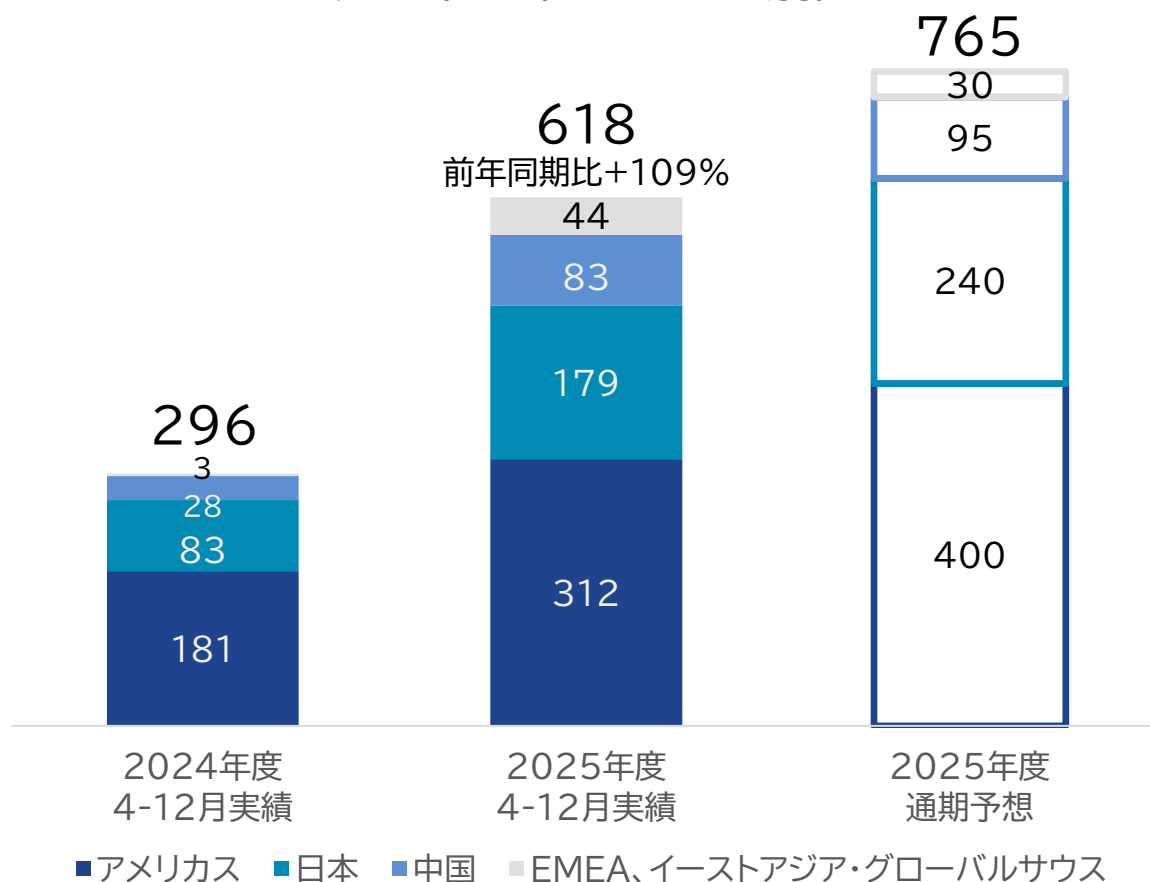
- 日本：薬価改定14%の引き下げを吸収し、数量増による売上が拡大（前年同期比+4%）  
不眠症治療剤市場で金額シェア第1位（60%以上）を維持
- アメリカス：主にカナダで伸長（前年同期比+44%）
- 中国：2025年8月発売以降、計画どおりに進捗

アルツハイマー病(AD)治療剤:神経毒性を呈することが報告されている  
A $\beta$ プロトフィブリルとアミロイドプラークを除去することで、  
ADの進行を抑制し、認知機能と日常生活機能の低下を抑制する  
長期投与可能な唯一の抗A $\beta$ 抗体

早期ADに係る適応で、日本、  
米国、中国、欧州(EU)など  
53の国と地域で承認取得済

売上収益(リージョン別)

(単位:億円)



■ 全てのリージョンで着実に成長し、  
通期売上予想765億円の達成を見込む

- アメリカス:レケンビ処方医の増加、  
18カ月以降の高い治療継続率、BBMに  
よる診断数の増加、SC-AI承認による  
治療選択肢の拡大により着実な成長  
(前年同期比+72%)
- 日本:薬価改定15%の引き下げを吸収し、  
循環型医療連携の順調な構築、  
高い治療継続率により着実な成長  
(前年同期比+115%)
- 中国:プライベートマーケットでの  
需要拡大(前年同期比+201%)  
商業健康保険革新的医薬品リストに収載

# レケンビ 価値最大化に向けた取り組み

早期診断、長期治療の実現に向けて

## 診断治療パスウェイ(現状)



## 新パスウェイへの移行(パスウェイの変革により実現可能性が高まる)



■ SC-AIの導入、  
BBMの社会実装、  
PCPと専門医の連携が、  
パスウェイの変革をもたらす

## オートインジェクター付き皮下注製剤(SC-AI)\*1の持つ患者様価値

- 選択肢の増大:点滴静注(IV)に加え、オートインジェクターによる自己投与が新たな選択肢に
- 高い利便性:週1回の在宅での投与が可能となり、薬剤投与のための通院が不要に
- 安全性:Human Factor試験で安全かつ効果的に使用できることを確認済\*2

当社の強みであるModeling and Simulation を駆使し、点滴静注(IV)との同等性を証明  
グローバルな展開を目指す



テルモ社製SC-AI:平均15秒で投与可能\*3

主な特徴:テーパー針、プラスチック製シリンジ、  
シリコンオイル不使用

## SC-AI申請・承認状況

### 米国:LEQEMBI IQLIK

- ・ 維持療法(360 mg):承認(2025年8月)、上市済(2025年10月)
- ・ 初期療法(500 mg\*4):PDUFA\*5 2026年5月24日(優先審査に指定)

日本:承認申請済\*6(2025年11月)

中国:承認申請済\*6(2026年1月)、優先審査に指定

## レケンビならではの患者様価値をさらに拡大

\*1 SC-AI:Subcutaneous formulation with auto injector \*2 AAIC2025, Feature Research Session #4-13-FRS-C, July 30, 2025, Lecanemab Subcutaneous Formulation for Maintenance Dosing: The Potential of a New and Convenient Option for Ongoing Treatment in Early Alzheimer's Disease \*3 SC-AI 1本あたりの投与時間 \*4 250mg x 2本 \*5 Prescription Drug User Fee Act

\*6 SC-AI 500mg (250mg x 2本) 投与にて申請

## Aβ検査におけるBBM\*<sup>1</sup>の使用増加とその価値

- スクリーニング(Aβトリアージテスト)としての使用が増加し、PET/CSF検査での陽性率が向上
- Aβ確定診断としてBBM使用が増加することにより、AD-DMT\*<sup>2</sup>投与に向けた診断プロセスが効率化

## BBMを取り巻く、ポジティブな環境変化

### 米国: FDAからIVD\*<sup>3</sup>承認、AA\*<sup>4</sup>からのガイドライン発出\*<sup>5</sup>、CMS\*<sup>6</sup>からの償還

- PET/CSFから代替し得るAβ診断薬(IVD)が初のFDA承認取得(2025年5月、富士レビオ社)
- Primary Care向けのBBMがFDA承認取得(2025年10月、Roche Diagnostics社)
- 臨床におけるBBM使用に関して、AA(米国アルツハイマー協会)がガイドライン発出(2025年7月)  
⇒ トリアージテスト、確定診断についてクライテリアを明示
- 米国有数の複数の検査会社においてBBM検査の受託を開始
- CMSにより共通の償還価格が設定(2026年1月)

日本: 富士レビオ社がIVD申請(2025年11月)

中国: エーザイ中国がBeckman Coulter社とBBM領域において協業開始\*<sup>7</sup>(2025年11月)

欧州: Roche社製のp-Tau181がアミロイド陰性の除外目的(rule out)でCE-IVD取得\*<sup>8</sup>(2025年7月)

## BBMの実装によるAβ診断の効率化、治療の一般化、デマンド拡大

\*1 Blood Based Biomarker \*2 Alzheimer's Disease - Disease-Modifying Therapy \*3 In Vitro Diagnostic (体外診断用医薬品) \*4 米国アルツハイマー協会 \*5 Alzheimer's Association Clinical Practice Guideline on the use of blood-based biomarkers in the diagnostic workup of suspected Alzheimer's disease within specialized care settings, Alzheimer's Dement, 2025;21:e70535

\*6 Centers for Medicare & Medicaid Services \*7 <https://en.cacip.com/industry-news/3675.html> \*8 <https://www.roche.com/media/releases/med-cor-2025-07-23b>



## ■ 高い継続率による長期治療と新たな診断オプション、治療オプションの実装による成長

### 処方医数の増加

- ・ 長期投与・安全性等のキーエビデンス浸透により、レケンビ処方医が増加

### 治療18カ月以降の安定した高い治療継続率

- ・ 18カ月治療患者様の約80%が継続希望

### BBM<sup>\*1</sup>でのA $\beta$ 確定診断によるレケンビ治療機会拡大による成長

- ・ BBM診断数:17%の成長率<sup>\*2</sup>(3カ月平均値)
- ・ BBMのみによる確定診断が確実に増加:実臨床において、約10%がBBMによる確定診断
- ・ CMS<sup>\*3</sup>によるBBMの新たなNational payment rateが決定し、2026年1月より施行

### LEQEMBI IQLIK<sup>\*4</sup>による治療選択肢増加による成長

- ・ 維持療法:Medical Exception Process (MEP)による投与が順調に増加、償還承認率80%以上
- ・ 初期療法:優先審査に指定、PDUFA<sup>\*5</sup>アクションデイトは2026年5月24日に設定

通期売上予想400億円の達成に向け順調に進捗

LEQEMBI IQLIK初期療法により、2026年度下期にはパスウェイ効率化の加速を見込む

## 日本

### 治療継続を実現する 循環型医療連携の構築

- ・ 循環型医療連携の構築が着実に進捗

初期導入: 約800施設



6カ月投与以降のフォローアップ: 約1,700施設



かかりつけ医: 約5,400名

- ・ 18カ月投与以降の継続率 約80%
- ・ SC-AI\*1 承認申請済 (2025年11月)  
2026年中の上市をめざす

2025年11月の15%薬価引き下げを吸収し、  
通期売上予想240億円の達成に向け順調に進捗

## 中国

### 革新的医薬品としてリスト収載、 SC-AI申請により患者様価値を拡大へ

- ・ 1Qに関税リスク対応のための在庫先行積み増しが発生したが、実需要\*2は順調に拡大
- ・ 中国商業健康保険の革新的医薬品リストに収載\*3  
中国政府による革新的医薬品の開発とアクセスを支援する新たな政策。2026年度下期以降、レケンビ治療を含めた商業健康保険が順次提供される予定
- ・ SC-AI\*1 承認申請済 (2026年1月)、優先審査に指定  
2027年度の上市をめざす

通期売上予想95億円の達成に向け順調に進捗



# オレキシン2受容体作動薬 E2086

E2086は、自社創製オレキシン・プラットフォームの強みと、オレキシン受容体拮抗薬デエビゴの探索研究で蓄積した経験知を活かして見出した、ユニークな化学構造を有する低分子化合物

- ナルコレプシーに代表される日中の過度の眠気や情動脱力発作などを改善することを期待（オレキシン神経系を活性化することにより、覚醒中枢を活性化、睡眠中枢を不活性化）
- 1型、2型ナルコレプシー患者様を対象に一日一回投与によるフェーズ2試験（202試験）を開始予定
- 睡眠障害（ナルコレプシー）領域でのベストインクラスをめざす

## 良好なPOM（Proof of Mechanism）試験結果

- 1型ナルコレプシー（NT1）患者様を対象にした単回投与によるPOM試験（101試験）を完了  
一日一回投与において、プラセボや比較対照薬（モダフィニル）に比較して日中の過度な眠気を有意に抑制することが示された
- 単回投与で有効性を示した投与量において、良好な忍容性と安全性を示し、肝機能障害や視覚異常は観察されなかった

World Sleep 2025にて発表

# パイプライン Key Events

Neurodegeneration ATN*1 Continuum		適応症	ステージ	Key Events
A Amyloid	レケンビ*2 (抗Aβプロトフィブリル抗体)	早期AD (IV 初期・維持療法)	グローバル申請・承認	初期療法承認:53カ国と地域、維持療法承認:7カ国と地域
		早期AD (SC-AI*3 初期療法)	日米中 申請中 (500mg)	米国PDUFA*4:2026年5月、日本承認見込み:2026年中、中国承認見込み:2027年度
		早期AD (SC-AI 維持療法)	米国 承認済み (360mg)	
		プレクリニカルAD (AHEAD3-45*5)	フェーズⅢ	トップラインデータ取得:2028年度
T Tau	Etalanetug (E2814) (抗MTBR*6タウ抗体)	DIAD*7 (Tau NexGen*8)	フェーズⅡ/Ⅲ	トップラインデータ取得:2028年度
		sAD*9 (202試験)	フェーズⅡ	トップラインデータ取得:2027年度
N Neuro-degeneration	E2511 (TrkA*10統合シナプス再生剤)	AD	フェーズⅠ	フェーズⅠb 試験準備中
	E2025 (抗EphA4*11抗体)	AD	フェーズⅠ	
オレキシンプラットフォーム		適応症	ステージ	Key Events
E2086 (オレキシン2受容体作動薬)		ナルコレプシー (202試験)	フェーズⅡ 試験準備中	フェーズⅡ 試験:2025年度4Q開始予定
がん領域		適応症	ステージ	Key Events
レンビマ*12 (マルチキナーゼ阻害剤)		腎細胞がんセカンドライン LITESPARK-011*13	規制当局とデータ協議中	ピボタル試験結果(LITESPARK-011試験)を今後の学会で発表予定
タレトレクチニブ*14 (ROS1キナーゼ阻害剤)		ROS1陽性 非小細胞肺がん	欧州申請準備中	欧州:2026年前半までに承認申請予定
Serplulimab*15 (抗PD-1抗体)		進展型小細胞肺がん 大腸がん	日本 フェーズⅡ フェーズⅢ	日本:2026年度中の承認申請予定 トップラインデータ取得:2027年度
MORAb-202/FZEC*16 (エリブリン-抗葉酸受容体α抗体 ADC*17)		固形がん(201試験) 単剤およびレンビマとの併用	フェーズⅠb/Ⅱ	
E7386*18 (CBP*19/βカテニン阻害剤)		固形がん(102試験) レンビマとの併用	フェーズⅠb/Ⅱ	トップラインデータ取得:2026年度

Key Eventsのトップライン想定時期は、2026年1月26日時点のClinicalTrials.govにおける開示情報に基づく。\*1 ATN: Amyloid, Tau, Neurodegeneration \*2 一般名:レカネマブ \*3 Subcutaneous formulation with auto injector  
\*4 Prescription Drug User Fee Act \*5 Alzheimer's Clinical Trials Consortiumと実施 \*6 Microtubule binding region \*7 Dominantly inherited Alzheimer's disease \*8 Dominantly Inherited Alzheimer Network - Trials Unit が実施するDIADに対する臨床試験 \*9 sporadic AD \*10 tropomyosin receptor kinase \*11 Ephrin receptor A4 \*12 一般名:レンバチニブメシル酸塩 \*13 Merck & Co., Inc., Rahway, NJ, USAが主導する試験  
\*14 Nuvation Bio Inc.からの導入品 \*15 Shanghai Henlius Biotech, Inc.からの導入品 \*16 一般名: farletuzumab ecteribulin \*17 Antibody Drug Conjugate \*18 株式会社PRISM BioLabとの共同創出品 \*19 CREB-binding Protein

## 本日のまとめ

- 第3四半期業績は堅調、オーガニックビジネスが成長を牽引
- 通期見通しは据え置き、計画達成に向け順調に進捗
- オンコロジー領域で2件の導入を実施、パイプライン強化を本格加速
- 3Lの成長が企業価値の確実な押し上げに寄与
- レケンビは各リージョンで強い手応え
- パイプラインも多面的に進捗
- 導入と自社創薬の両輪でパイプラインを拡充し、持続的な企業価値向上を実現

# 参考資料

# 連結損益計算書

(億円)	2024年度		2025年度					
	4-12月 実績	売上比	4-12月 実績	売上比	前同比	予想	前期比	進捗率
売上収益	6,012	100%	6,199	100%	+3.1%	7,900	+0.1%	78.5%
医薬品事業 売上収益	5,691	94.7%	6,101	98.4%	+7.2%	7,545	+0.7%	80.9%
その他事業 売上収益	321	5.3%	98	1.6%	-69.4%	355	-12.1%	27.7%
売上原価	1,282	21.3%	1,392	22.5%	+8.6%	1,825	+8.1%	76.3%
売上総利益	4,730	78.7%	4,807	77.5%	+1.6%	6,075	-2.1%	79.1%
研究開発費	1,253	20.8%	1,147	18.5%	-8.5%	1,665	-3.0%	68.9%
販売管理費	3,015	50.1%	3,157	50.9%	+4.7%	3,960	-2.9%	79.7%
その他の損益	92	1.5%	42	0.7%	-54.8%	95	-29.1%	44.0%
営業利益	554	9.2%	545	8.8%	-1.7%	545	+0.2%	99.9%
当期利益	475	7.9%	437	7.1%	-7.9%	435	-9.5%	100.5%
当期利益(親会社所有者帰属)	455	7.6%	418	6.7%	-8.1%	415	-10.6%	100.7%

2025年度第3四半期期中平均レート 米ドル:148.74円(前期変動率-2.5%)、ユーロ:171.83円(同+4.3%)、英ポンド:198.95円(同+1.8%)、人民元:20.77(同-1.8%)

2025年度期中平均予想レート 米ドル: 148.00円、ユーロ:157.00円、英ポンド:188.00円、人民元:20.80円

# セグメント売上収益

(億円)	2024年度		2025年度					
	4-12月 売上収益	構成比	4-12月 売上収益	構成比	前同比	予想	前期比	進捗率
医薬品事業計	5,691	94.7%	6,101	98.4%	+7.2%	7,545	+0.7%	80.9%
日本	1,671	27.8%	1,756	28.3%	+5.1%	2,255	+4.3%	77.9%
アメリカス	2,093	34.8%	2,230	36.0%	+6.6%	2,730	-1.9%	81.7%
中国	885	14.7%	998	16.1%	+12.7%	1,240	+7.3%	80.5%
EMEA	597	9.9%	603	9.7%	+1.0%	710	-10.6%	84.9%
イーストアジア・グローバルサウス	444	7.4%	514	8.3%	+15.7%	610	+2.4%	84.2%
その他事業 <sup>*1</sup>	321	5.3%	98	1.6%	-69.4%	355	-12.1%	27.7%
連結売上収益	6,012	100%	6,199	100%	+3.1%	7,900	+0.1%	78.5%

外部顧客に対する売上収益を示す

当社グループは、セグメントを医薬品事業とその他事業に区分しており、医薬品事業を構成する日本、アメリカス(北米)、中国、EMEA(欧州、中東、アフリカ、ロシア、オセアニア)、イーストアジア・グローバルサウス(韓国、台湾、インド、アセアン、中南米、南アフリカ等)の5つの事業セグメントを報告セグメントとしている。

\*1 親会社のライセンス収入及び医薬品原料などに係る事業

# セグメント利益

(億円)	2024年度			2025年度			
	4-12月 セグメント利益	構成比	利益率	4-12月 セグメント利益	構成比	利益率	前同比
医薬品事業計	2,723	92.1%	47.9%	2,903	98.7%	47.6%	+6.6%
日本	587	19.9%	35.1%	585	19.9%	33.3%	-0.3%
アメリカス	1,210	41.0%	57.8%	1,334	45.3%	59.8%	+10.2%
中国	440	14.9%	49.7%	474	16.1%	47.5%	+7.6%
EMEA	280	9.5%	46.9%	269	9.1%	44.6%	-4.0%
イーストアジア・グローバルサウス	206	7.0%	46.4%	242	8.2%	47.0%	+17.3%
その他事業 <sup>*1</sup>	232	7.9%	72.4%	39	1.3%	39.5%	-83.3%
セグメント利益計	2,956	100%	49.2%	2,942	100%	47.5%	-0.5%
研究開発費 <sup>*2</sup>	-1,100	—	—	-1,006	—	—	-8.6%
親会社の本社管理費等 <sup>*3</sup>	-1,302	—	—	-1,392	—	—	+6.9%
連結営業利益	554	—	9.2%	545	—	8.8%	-1.7%

\*1 親会社のライセンス収入及び医薬品原料などに係る事業 \*2 研究開発費は、各報告セグメントに反映したメディカル活動に伴う費用を除いた研究開発費

\*3 パートナーとの戦略的提携に伴う利益及び費用の折半金額を含む。当社グループがMerck & Co., Inc., Rahway, NJ, USAに支払う抗がん剤「レンビマ」の利益折半費用  
(2024年度4-12月期:1,151億円、2025年度4-12月期:1,182億円)

# 主要品目の売上収益

(億円)	2024年度		2025年度						
	4-12月 実績	売上比	4-12月 実績	売上比	前同比	前同比 現地通貨ベース	予想	前期比	進捗率
レンビマ	2,481	100%	2,581	100%	+4.0%	+5.4%	3,120	-5.0%	82.7%
日本	106	4.3%	107	4.2%	+1.6%	+1.6%	130	-6.4%	82.7%
アメリカス	1,755	70.7%	1,786	69.2%	+1.8%	+4.4%	2,175	-6.4%	82.1%
中国	192	7.8%	193	7.5%	+0.1%	+2.0%	250	+1.0%	77.0%
EMEA	314	12.7%	363	14.1%	+15.5%	+9.8%	410	-2.1%	88.5%
イーストアジア・グローバルサウス	114	4.6%	132	5.1%	+16.2%	+18.0%	155	-1.0%	85.4%
レケンビ	296	100%	618	100%	+109.2%	+112.9%	765	+72.8%	80.8%
日本	83	28.1%	179	28.9%	+115.4%	+115.4%	240	+88.2%	74.6%
アメリカス	181	61.4%	312	50.4%	+71.8%	+76.2%	400	+53.1%	77.9%
中国	28	9.4%	83	13.5%	+200.7%	+206.3%	95	+102.4%	87.8%
EMEA	2	0.7%	11	1.8%	+413.5%	+404.4%	—	—	—
イーストアジア・グローバルサウス	1	0.4%	33	5.3%	+2993.9%	+3139.8%	—	—	—
デエビゴ	405	100%	477	100%	+17.8%	+18.4%	580	+7.9%	82.2%
日本	338	83.6%	352	73.9%	+4.1%	+4.1%	460	+3.4%	76.6%
アメリカス	50	12.3%	71	15.0%	+43.6%	+47.9%	90	+31.8%	79.3%
中国	2	0.5%	22	4.7%	+1070.0%	+1092.5%	—	—	—
EMEA	3	0.6%	8	1.7%	+218.4%	+223.4%	—	—	—
イーストアジア・グローバルサウス	12	3.1%	23	4.8%	+85.4%	+83.8%	—	—	—
フィコンパ	222	100%	246	100%	+10.7%	+8.7%	315	+5.6%	78.0%
日本	59	26.7%	63	25.8%	+6.7%	+6.7%	90	+16.3%	70.3%
中国	32	14.3%	38	15.6%	+21.2%	+23.5%	50	+20.0%	76.7%
EMEA	114	51.2%	125	51.1%	+10.5%	+5.8%	155	-1.2%	81.0%
イーストアジア・グローバルサウス	15	7.0%	17	7.0%	+10.7%	+11.4%	20	-3.5%	85.6%



# 日本 医薬品事業の業績

(億円)	2024年度		2025年度					
	4-12月 実績	売上比	4-12月 実績	売上比	前同比	予想	前期比	進捗率
売上収益	1,671	100%	1,756	100%	+5.1%	2,255	+4.3%	77.9%
医療用医薬品	1,492	89.3%	1,579	89.9%	+5.8%	2,025	+4.5%	78.0%
デエビゴ	338	20.2%	352	20.1%	+4.1%	460	+3.4%	76.6%
レケンビ	83	5.0%	179	10.2%	+115.4%	240	+88.2%	74.6%
ジセレカ	111	6.7%	138	7.8%	+23.7%	—	—	—
レンビマ	106	6.3%	107	6.1%	+1.6%	130	-6.4%	82.7%
グーフィス*	61	3.6%	69	3.9%	+13.8%	85	+8.6%	81.3%
モビコール*	59	3.5%	65	3.7%	+9.7%	76	-0.6%	85.3%
メチコバル	66	4.0%	64	3.7%	-2.5%	86	+0.4%	75.0%
フィコンパ	59	3.5%	63	3.6%	+6.7%	90	+16.3%	70.3%
エレンタール*	56	3.4%	54	3.1%	-3.5%	65	-9.0%	83.8%
リーバクト*	46	2.8%	54	3.1%	+15.3%	60	+0.1%	89.3%
エクフィナ	49	2.9%	53	3.0%	+7.8%	67	+5.9%	78.8%
ハラヴェン	57	3.4%	23	1.3%	-59.1%	—	—	—
一般用医薬品等	179	10.7%	177	10.1%	-1.1%	230	+2.3%	77.0%
チョコラBBグループ	121	7.2%	122	7.0%	+1.4%	150	-1.5%	81.6%
セグメント利益	587	35.1%	585	33.3%	-0.3%	—	—	—

\* EAファーマの取り扱い製品

# アメリカス 医薬品事業の業績

(億円)	2024年度		2025年度						
	4-12月 実績	売上比	4-12月 実績	売上比	前同比	前同比 現地通貨ベース	予想	前期比	進捗率
売上収益	2,093	100.0%	2,230	100.0%	+6.6%	+9.3%	2,730	-1.9%	81.7%
レンビマ	1,755	83.9%	1,786	80.1%	+1.8%	+4.4%	2,175	-6.4%	82.1%
米国	1,735	—	1,764	—	+1.7%		—	—	—
百万米ドル	1,137	—	1,186	—		+4.3%	—	—	—
レケンビ	181	8.7%	312	14.0%	+71.8%	+76.2%	400	+53.1%	77.9%
米国	181	—	312	—	+71.8%		—	—	—
百万米ドル	119	—	210	—		+76.2%	—	—	—
デエビゴ	50	2.4%	71	3.2%	+43.6%	+47.9%	90	+31.8%	79.3%
米国	23	—	29	—	+28.3%		—	—	—
百万米ドル	15	—	20	—		+31.6%	—	—	—
ハラヴェン	65	3.1%	25	1.1%	-62.0%	-61.0%	—	—	—
米国	63	—	23	—	-63.8%		—	—	—
百万米ドル	41	—	15	—		-62.9%	—	—	—
セグメント利益	1,210	57.8%	1,334	59.8%	+10.2%	+12.8%	—	—	—

# 中国 医薬品事業の業績

(億円)	2024年度		2025年度						
	4-12月 実績	売上比	4-12月 実績	売上比	前同比	前同比 現地通貨ベース	予想	前期比	進捗率
売上収益	885	100%	998	100%	+12.7%	+14.8%	1,240	+7.3%	80.5%
レンビマ	192	21.7%	193	19.3%	+0.1%	+2.0%	250	+1.0%	77.0%
メチコバル	97	10.9%	99	9.9%	+2.5%	+4.3%	—	—	—
メリスロン	115	13.0%	96	9.6%	-16.5%	-15.0%	—	—	—
レケンビ	28	3.1%	83	8.4%	+200.7%	+206.3%	95	+102.4%	87.8%
セルベックス	63	7.1%	74	7.4%	+17.7%	+19.9%	—	—	—
アリセプト	58	6.6%	66	6.6%	+13.1%	+15.2%	—	—	—
強力ネオミノファーゲンシー/グリチ ロン	57	6.5%	62	6.2%	+8.5%	+10.5%	—	—	—
ミオナール	54	6.1%	58	5.9%	+8.4%	+10.4%	—	—	—
フィコンパ	32	3.6%	38	3.8%	+21.2%	+23.5%	50	+20.0%	76.7%
デエビゴ	2	0.2%	22	2.2%	+1070.0%	+1092.5%	—	—	—
ハラヴェン	17	1.9%	10	1.0%	-40.2%	-39.1%	—	—	—
セグメント利益	440	49.7%	474	47.5%	+7.6%	+10.0%	—	—	—

# EMEA 医薬品事業の業績

(億円)	2024年度		2025年度						
	4-12月 実績	売上比	4-12月 実績	売上比	前同比	前同比 現地通貨ベース	予想	前期比	進捗率
売上収益	597	100%	603	100%	+1.0%	-3.2%	710	-10.6%	84.9%
レンビマ/Kisplyx	314	52.6%	363	60.2%	+15.5%	+9.8%	410	-2.1%	88.5%
フィコンパ	114	19.0%	125	20.8%	+10.5%	+5.8%	155	-1.2%	81.0%
ハラヴェン	73	12.2%	20	3.3%	-72.5%	-73.3%	—	—	—
レケンビ	2	0.4%	11	1.8%	+413.5%	+404.4%	—	—	—
デエビゴ	3	0.4%	8	1.3%	+218.4%	+223.4%	—	—	—
セグメント利益	280	46.9%	269	44.6%	-4.0%	-9.2%	—	—	—

# イーストアジア・グローバルサウス 医薬品事業の業績

(億円)	2024年度		2025年度						
	4-12月 実績	売上比	4-12月 実績	売上比	前同比	前同比 現地通貨ベース	予想	前期比	進捗率
売上収益	444	100%	514	100%	+15.7%	+17.5%	610	+2.4%	84.2%
レンビマ	114	25.6%	132	25.8%	+16.2%	+18.0%	155	-1.0%	85.4%
アリセプト	109	24.5%	111	21.7%	+2.3%	+5.1%	—	—	—
レケンビ	1	0.2%	33	6.4%	+2993.9%	+3139.8%	—	—	—
メチコバル	32	7.2%	31	6.0%	-4.1%	-3.2%	—	—	—
パリエット	34	7.6%	30	5.8%	-12.6%	-10.5%	—	—	—
ハラヴェン	28	6.3%	27	5.2%	-3.8%	-2.7%	—	—	—
デエビゴ	12	2.8%	23	4.5%	+85.4%	+83.8%	—	—	—
フィコンパ	15	3.5%	17	3.3%	+10.7%	+11.4%	20	-3.5%	85.6%
セグメント利益	206	46.4%	242	47.0%	+17.3%	+19.8%	—	—	—

# Strong Balance Sheetによる成長投資と安定配当の両立

	2025年12月末	前年度末差
Net cash <sup>*1</sup>	1,104億円	+56億円
Net DER <sup>*2</sup>	-0.12倍	+0.00倍
株主資本(親会社持分)	8,896億円	+482億円
親会社所有者帰属持分比率 (自己資本比率)	59.9%	-0.8%



財務の健全性に基づき、成長投資と安定配当を堅持  
レケンビを軸とする成長の中で、中長期的な株主価値の最大化をめざす

配当支払いは毎年の取締役会決議を前提とする

\*1 Net cash = 現金・有価証券(現金及び現金同等物 + 3カ月超預金等 + 親会社保有投資有価証券) - 有利子負債(社債及び借入金)

\*2 Net DER: Net Debt Equity Ratio = (有利子負債(借入金) - 現金及び現金同等物 - 3カ月超預金等 - 親会社保有投資有価証券) ÷ 親会社の所有者に帰属する持分

# 将来見通しに関する注意事項

- 本資料中の目標数値はあくまで中期的戦略、めざす方向性、ビジョン等を示すものであり正式な業績予想ではありません。正式な業績予想は東京証券取引所規則に基く年次決算短信での開示をご参照ください。
- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらの文言は、現在における見込み、予測、リスクを伴う想定、実質的にこれらの文言とは異なる現実的な結論、結果を招き得る不確実性に基くものです。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。リスクや不確実性は、特に製品に関連した見通し情報に存在します。製品のリスク、不確実性には、技術的進歩、特許の競合他社による獲得、臨床試験の完了、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念、規制機関による審査期間や承認取得、国内外の保健関連改革、マネジドケア、健康管理コスト抑制への傾向、国内外の事業に影響を与える政府の法規制など、新製品開発に付随する課題などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- また、承認済み製品に関しては、製造およびマーケティングのリスクがあり、需要を満たす製造能力を構築する能力を欠く状況、原材料の入手困難、市場の受容が得られない場合などが含まれますが、これに限定されるものではありません。
- 新しい情報、将来の出来事もしくはその他の事項より、見通し情報に更新もしくは改正が望ましい場合であっても、それを行う意図を有するものではなく、義務を負うものではありません。
- 当社の連結財務諸表は国際会計基準(IFRS)にて開示しています。